



授業のまとめ・振り返りを大切に！

新学習指導要領の全面実施にともない、学習評価が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になりました。以前より、学力の定着を図るためには“まとめや振り返り”が重要であると指摘されてきました。特に新しい観点の「主体的に学習に取り組む態度」を児童生徒に発揮させるためには、授業中の観察だけでなくまとめや振り返りを今まで以上に重視し、自分の思考や行動を客観視する資質・能力（いわゆるメタ認知）を向上させることが大切です。

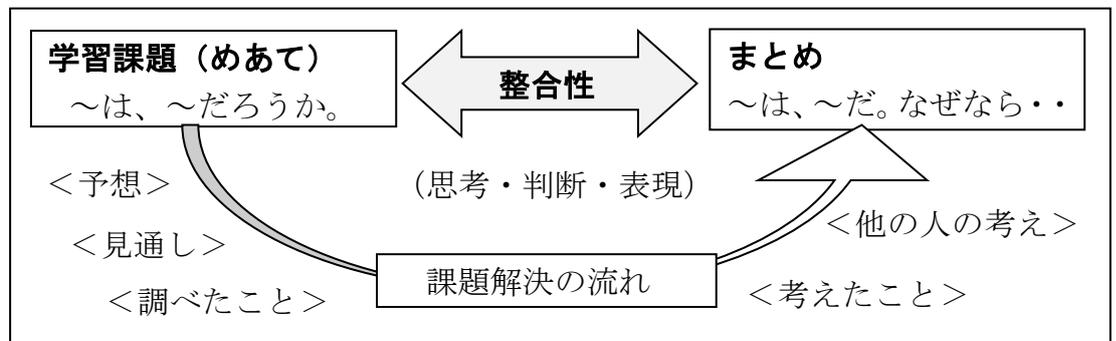
◇「何を学習したか」をまとめさせるには



学習課題(めあて)とまとめの整合性を図りましょう。自分の言葉でまとめを書かせるためには、板書が1つのツールとなります。

学習の流れが分かる構造的な板書例

板書は、学習の流れを示すだけでなく、上下や左右に分けて対比させるなど、まとめや振り返りに効果的な工夫をしましょう。



◇「どのように学習したか」を振り返らせるには



「主体的に学習に取り組む態度」を児童生徒に発揮させるために、単なる感想（おもしろかった等）ではなく、課題解決のために気を付けたこと、できるようになったこと、工夫したこと、役に立ったこと、何度も試したこと（試行錯誤）などを振り返らせましょう。

◇授業のまとめや振り返りの視点は

再生する

- ・算数科で数の性質を活用して計算を工夫しました。違う数字でも性質があてはまるでしょうか。友達に説明しましょう。

ねらいに沿った適用問題を解く

- ・同じ手順で解いてみましょう。
- ・誤答を修正しましょう。
- ・別な手順で解いてみましょう。

新たな課題を見つける

- ・今日の気づきや疑問を書きましょう。
- ・◇はどうなのだろうか？家庭学習で予想を立ててきましょう。

自己の変容を見つける

- ・友達の考えを聞いて、自分の考えは変わりましたか？○○さんの考えを聞いて、自分の考えが変わった、変わらなかった（確信を持った）等理由をつけて書きましょう。